

# 学校推薦型選抜（公募）Ⅰ期 国語「基礎学力調査」（一日目）

【一】 次の文章を読んで、後の問（問一～六）に答えなさい。

ケアということは時間ということと深い関係にあると思われる。つまり、人間の自然な心のもち方として、自分の好きな人あるいは大切に思う人とはともに時間を過ごすことを厭いとわない一方、そうでない人とはキョクリョク時間を一緒に過ごすことを（A）とする。このように考えていくと、ケアとは（その人に）<sup>(X)</sup>「時間をあげる」こと、<sup>(7)</sup>と違ってよいような性格をもっている。あるいは、「時間をともに過ごすこと」自体がひとつのケアであるともいえる。

ところで、ここで「時間」ということについて考えてみると、時間には様々な「層」があるという見方が可能ではないだろうか。通常私たちが「時間」と呼んでいるのは「直線的な時間」<sup>(Y)</sup>あるいは「カレンダー的な時間」のことであろう。けれども、たとえば海の水の流れについて、表面の水はせわしなく流れ変化していても、底のほうにいくほど水の流れがゆるくなり、もつとも底にはほとんど（B）の層があるように、時間についても、（C）変化していく日常の時間の底に、もつとゆっくりと流れる層があり、私たちの生はそうした時間の層によって支えられている、と考えられないだろうか。

この場合、私たちがふだん意識している「カレンダー的な時間」を「個人の時間」とすると、その底にはいわば「コミュニティの時間」とも呼べるような層があり、さらにその底には「自然の時間」という層がある、と考えてみたい。そして、「個人の時間」よりも「コミュニティの時間」のほうが、またさらに「自然の時間」のほうが、<sup>(4)</sup>（D）と流れていると考えてみるのである。それはまた、後のものになるほどより「エイゾク的」であるということである。

そしてケアとは、個人を、その根底にあるコミュニティ（の時間）や自然（の時間）につないでいく営みととらえることができるのではないだろうか。

こうして見ていくと、「自然との関わり」が人々に「癒し」の感覚を与えたり、またそれが本節で見えてきたように一定の治療力をもつのは、<sup>(6)</sup>「カレンダー的な時間」ないし「個人の時間」に追われている現代人が、そのことを通じ、自らが根底にもっている「自然の時間」にふれ、あるいはそれにシンクロナイズすることができるから、と考えられる。

このように「自然との関わりを通じたケア」ということの意味を、現代人が失いがちな「自然の時間」とのセツシヨク<sup>(7)</sup>とその回復——それは精神ビョウリ学者のミンコフスキーが「生命とのセツシヨク<sup>(7)</sup>」と呼んだこととも重なってくる——としてとらえ返すこともできると思えるのである。

（広井良典『生命の政治学』より、文中省略・変更あり）

〔問二〕 傍線部(ア)～(エ)にあてはまる漢字を含む熟語を、次の各群①～⑤のなかからそれぞれ一つずつ選びなさい。

- |     |         |   |    |
|-----|---------|---|----|
| (ア) | キヨク リヨク | ① | 局面 |
| (イ) | エイ ゾク   | ① | 栄光 |
| (ウ) | セツ シヨク  | ① | 浸食 |
| (エ) | ビヨウ リ   | ① | 履修 |
|     |         | ② | 作曲 |
|     |         | ② | 映像 |
|     |         | ② | 触覚 |
|     |         | ② | 利用 |
|     |         | ③ | 北極 |
|     |         | ③ | 英知 |
|     |         | ③ | 誤植 |
|     |         | ③ | 脳裡 |
|     |         | ④ | 旭日 |
|     |         | ④ | 経営 |
|     |         | ④ | 月蝕 |
|     |         | ④ | 理容 |
|     |         | ⑤ | 拘束 |
|     |         | ⑤ | 永劫 |
|     |         | ⑤ | 就職 |
|     |         | ⑤ | 官吏 |

〔問三〕 (A)～(D)に当てはまる最も適切な言葉を、次の各群①～⑤のなかからそれぞれ一つずつ選びなさい。

- |     |   |        |
|-----|---|--------|
| (A) | ① | 楽しもう   |
| (B) | ① | 深淵     |
| (C) | ① | めまぐるしく |
| (D) | ① | はつきり   |
|     | ② | 阻もう    |
|     | ② | 濁流     |
|     | ② | 潤しく    |
|     | ② | ふつくら   |
|     | ③ | 避けよう   |
|     | ③ | 流動     |
|     | ③ | かぼそく   |
|     | ③ | こっそり   |
|     | ④ | 我慢しよう  |
|     | ④ | 不動     |
|     | ④ | はかなく   |
|     | ④ | ずっしり   |
|     | ⑤ | 笑おう    |
|     | ⑤ | 濃紺     |
|     | ⑤ | 荒々しく   |
|     | ⑤ | ゆっくり   |

〔問三〕 傍線部(X)「時間をあげる」の補足説明として最も適切なものを、次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 一緒にいる代わりに、その分の時給を要求する。
- ② 特定の目的を達成するために切磋琢磨して共に努力する。
- ③ その人と一緒に過ごすことそのものに価値を感じる。
- ④ その人が退屈しないように、その時間内は十分にもてなさなければならない。
- ⑤ その人のために費やした時間と同等の時間を要求する権利がある。

〔問四〕 傍線部(Y)「直線的な時間」、カレンダー的な時間、の例として適切ではないものを、次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 自分で綿密に計画を立て、効率的に仕事をこなす時間
- ② 日々の慌ただしさに慣れるだけで精一杯の時間
- ③ 適切に情報を集め、世の中の変化についていく時間
- ④ 自然と調和し、生きていることそのものに価値を見出せる時間
- ⑤ 現在を未来の目的のための手段として使う時間

〔問五〕 作者の見解として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① ケアとは狭い意味では看護、介護、保育などを意味するが、ここでは科学に裏付けられた専門的な技術を磨くことが重要である。
- ② 「コミュニティの時間」においては、そのコミュニティと話し合いを重ねることが求められる。
- ③ 「自然との関わり」における治癒力とは、医師に頼ることなく自己節制によって自らの健康を保つことである。
- ④ 「自然の時間」に同期するためには、子どもの頃からマリンスポーツの技術を磨いておくことが重要である。
- ⑤ ケアとは、「コミュニティの時間」や「自然の時間」の次元と大きく関わる営みである。

〔問六〕 作者は同書の別の個所でこの「自然の時間」を表現している文学として、宮沢賢治の作品を挙げている。次の①～

⑤の中から、宮沢賢治の作品を一つ選びなさい。

- ① ごんぎつね
- ② セロ弾きのゴーシュ
- ③ こがね丸
- ④ 風の中の子供
- ⑤ 一房の葡萄

【二】 次の文章を読んで、後の問（問一～五）に答えなさい。

ここで思い当たったのだが、カビや茸の匂い——これからまとめて菌臭と言おう——は、家への馴染みを作る大きな要素だけでなく、一般にかなりの（A）効果を持つのではないか。すべてのカビ・キノコの匂いではないが、奥床しいと感じる家や森には気持を落ち着ける菌臭がそこはかとなく漂っているのではないか。それが精神に（A）的にはたらくとすればなぜだろう。

菌臭は、死—分解の匂いである。それが、一種独特の気持ちをしぼりつけ、ひんやりとした、なつかしい、少し胸のひろがるような感情をカンキする<sup>(7)</sup>のは、われわれの心の隅に、死と分解というものをやさしく受け容れる準備のようなものがあるからのように思う。自分の帰ってゆく先のかそかな世界を予感させる匂いである。

フロイトは、エロスという性（生）<sup>(1)</sup>へのケイシャとともに「タナトス」という死へのケイシャ<sup>(1)</sup>を人間の心の深層にかいま見たけれども、このフロイトの「タナトス」は、どうも血の匂いのする、攻撃性の基盤になるようなイメージのものではなからうか。それは強迫という現象と結びつけてフロイトが考えたからであろう。一般に強迫症的な取り澄ましたきちんとした（B）の一枚下には血みどろの幻想が渦を巻いている。うっかり精神分析でこの地獄の釜の蓋を開けないようにというケイコク<sup>(7)</sup>が精神療法家の間では行き渡っている。

フロイトは八十三歳まで生きて、最後の一六年は上顎癌の手術につぐ手術で、それでも死の一カ月前まで仕事をして、友人に「もういいよ」とささやいて、かねて約束の致死量のモルヒネを打ってもらって死んでいった。それはそれで（C）した生き死にだけれども、彼のもっぱら親しんだのがギリシャ悲劇であるのは、タナトスの血なまぐささと無関係でないような気がする。

ギリシャの文学に親しんでいささか参るのは、裏も表もない若さの（D）である。山間で老人が背を曲げて碁でも打っているといった南画の世界がギリシャから一番遠いものであるという、どなたかのシテキ<sup>(E)</sup>を読んでなるほど思ったことが

ある。だから、カヴァフィスのような現代ギリシヤ詩人も若い時から老・病・死を恐れる強迫を持ち、この強迫がその詩に  
 隠<sup>いんげん</sup>顯するのだろう。私はたまたま彼の詩をだいたい全部訳したけれども、時には非常に違和感を感じて手に取れないことが  
 ある。それは、一言にしていえば、菌臭の持つ安らぎから実に遠いということである。

(中井久夫「きのこの匂いについて」(『家族の表象』所収)より)

〔問一〕 傍線部(ア)～(エ)にあてはまる漢字を含む熟語を、次の各群①～⑤のなかからそれぞれ一つずつ選びなさい。

- |     |      |   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |
|-----|------|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| (ア) | カンキ  | ① | 起床 | ② | 気候 | ③ | 季節 | ④ | 帰宅 | ⑤ | 希望 |
| (イ) | ケイシヤ | ① | 契約 | ② | 継投 | ③ | 携帯 | ④ | 傾向 | ⑤ | 罫線 |
| (ウ) | ケイコク | ① | 谷間 | ② | 告発 | ③ | 時刻 | ④ | 残酷 | ⑤ | 相克 |
| (エ) | シテキ  | ① | 適正 | ② | 嫡子 | ③ | 拔擢 | ④ | 点滴 | ⑤ | 摘出 |

〔問二〕 (A) (B) (C) (D) に当てはまる最も適切な言葉を、次の各群①～⑤のなかからそれぞれ一つずつ選びなさい。

- |     |        |        |        |        |        |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| (A) | ① 鎮静   | ② 覚醒   | ③ 陰鬱   | ④ 奮起   | ⑤ 高揚   |
| (B) | ① 概念   | ② 本質   | ③ 混乱   | ④ 表層   | ⑤ 背後   |
| (C) | ① 自画自賛 | ② 切磋琢磨 | ③ 順風満帆 | ④ 以心伝心 | ⑤ 首尾一貫 |
| (D) | ① 疑念   | ② 超然   | ③ 賛美   | ④ 批判   | ⑤ 虚心   |

〔問三〕 この文章で「カビや茸の匂い」を意味する「菌臭」についての最も適した説明を、次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 長きにわたって家に住むためには防腐が重要である。
- ② 菌臭は死を連想させるため、人々を不安に陥れる可能性がある。
- ③ 森の持続可能性を考えると、菌臭を手がかりとしたカビや茸の管理は必須である。
- ④ 菌臭が漂っていることで、心を落ち着かせる作用がある。
- ⑤ 古代ギリシャ以来、多くの文学作品では匂いと記憶を関連させている。



〔問四〕

作者のタナトスへの見解について最も適した説明を、次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① タナトスには菌臭と同様に人の心を落ち着かせる作用がある。
- ② タナトスは生へのあくなき希望を表現する概念である。
- ③ 精神療法家は、クライアントの問題を解決するためにタナトスに立ち向かうべきである。
- ④ フロイトはタナトスに強迫行動の源泉を見ている。
- ⑤ タナトスと南画の世界観に共通性を見て取ることができる。

〔問五〕

作者のギリシヤ文学への見解として正しいものを、次の①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① ギリシヤ文学の瑞々しい表現には常に感銘を受けている。
- ② ギリシヤ文学の若さへの称揚にはうんざりする。
- ③ ギリシヤ文学には、夏の日の夕刻に秋の気配を感じるような風情がある。
- ④ ギリシヤの現代詩人のカヴァフィスの詩には、老・病・死の気配さえ見えない。
- ⑤ ギリシヤ文学は自身が死ぬ存在であると自覚することで、人生の意味を理解する傾向にある。

# 【解答例】

入試年度 : 2022  
入試種別 : 学校推薦型選抜(公募)  
I期 1日目  
科目 : 基礎学力調査

〈国語〉

問No.	解答番号
1	3
2	5
3	2
4	4
5	3
6	4
7	1
8	5
9	3
10	4
11	5
12	2
13	1
14	4
15	2
16	5
17	1
18	4
19	5
20	3
21	4
22	4
23	2
24	
25	